

山椒は小粒でも…

Vol.29

えっ、いつのまに？



先月号のパリ訪問の話の続

きとなりますが、パリでの移動はウーバー(自分で配車するタクシーみたいなもの)か地下鉄でした。しかし、今のパリ市長が環境に配慮し、車線を減らすなどして中心部から車を締め出す政策をしているため、どこも慢性的な渋滞で、到着時間が読めず苦労しました。市長は電車じゃなく、車で「私」を使ってくれるのですが、私はどちらかというところ、鉄道大好き。人混みを縫って歩くのも好きなので、地下鉄に乗るのも楽しみのひとつでした。



交通渋滞に加え、たまたまデモに遭遇

さてその初めての地下鉄、日本と比べて通路は狭く、天井が低く、おしなべて暗い感じ。料金は均一1.9ユーロ(約

230円)です。改札はほぼ自動。切符は出る時も回収されず戻ってきて、未使用のものとの区別がつきません。改札のトラブルもたびたびです。これにかこつけて不正乗車を指摘し、数倍のお金を請求する二七検札員もいるそうです。ホームドアのある駅は数えるほどですが、驚いたことにまだ電車が停まらないうちからドアが開きます。大丈夫かな、と思いつつ降り降りました。ドアを背にしてキョロキョロ見回すと、さすが多文化共生の国フランス、いろんな国の人がいます。特にアナウンスがあるわけでもなくドアが閉まります。その閉まる間際、私より後から乗ってきて奥にいた高校生くらいの4〜5人組が慌てて電車から降りていきましました。乗り間違えたのかなと思いましたが、降り際に定期入力を車内に落としていきましました。私の横にいた乗客がそれを拾って閉まりかけたドアに

向かって、ホームに届くようにその定期入れを投げましたが無情にも閉まったドアにはね返って戻ってきました。ホームの少年たちはまだ気づいていないかのように笑っています。気の毒になあ、と思いつつ、車内に目を戻し拾って投げた乗客の方を見ると、ホームに届かなかった定期入れを拾い直して、中身を見えています。どこかでみたことあるなと思つたら、何と私の名刺入れでした。そうです、私がポケットに入れていたのを盗まれたのです。ホームにいる時から私に目星をつけていたのでしょう。一緒に乗り込み、盗つたはいいもののお金が入っていないので、その場に捨てて降りていったのです。私ってそんなにおのぼりさんに見えますか？



パリの地下鉄

少々怖い目にもあいましたが、華の都パリの印象は悪くありません。いろんなものを受け入れてしまう器の大きさを感じました。



Vol.187

市民課人権・市民交流係
☎ 1126

人権週間

1948年第3回国際連合総会において基本的人権および自由を尊重し確保するために、世界の全ての人々と全ての国々が達成すべき共通の基準として、世界人権宣言が採択され、本年度71周年を迎えます。

国際連合は、採択を記念して、採択日である12月10日を「人権デー(Human Rights Day)」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

そこで、法務省および全国人権擁護委員連合会は、毎年12月10日の「人権デー」を最終日とする12月4日から10日までを「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに、人権尊重思想の普及高

揚に努めています。本年も、「第71回人権週間」として、関係機関などの協力を得て全国各地で各種啓発活動が実施されます。

「人権」は、難しいものではなく、本来であればだれでも心で理解し、感じることでできるものです。しかし、現実には、保護者からの虐待によって尊い子どもの命が奪われたり、パートナーからの暴力によって心や身体に深い傷を受けたりするなど、人権が簡単に奪われてしまふような事件がたくさん発生しています。また、高齢だから、障がいがあるから、同和地区出身者だから、外国人だからなどとさまざまな理由を付けて、いわれない差別に心を傷めるかたも少なくありません。みなさんもこの機会に人権について理解を深めて、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう一度考えてみませんか。

